

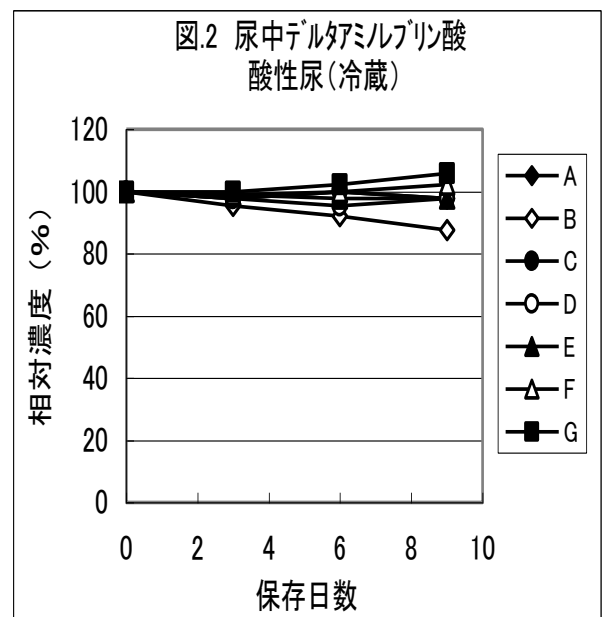
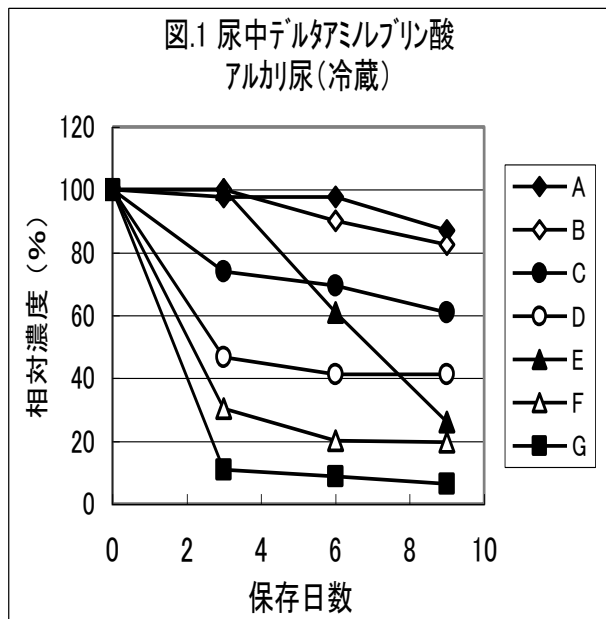
調査事例：尿中 ALA [アルカリ尿での濃度低下]

環境・健康

尿検体は、非常に細菌が繁殖しやすく腐敗しやすい状態です。尿中デルタアミノレブリン酸（尿中 ALA）は、アルカリ性の尿など保存状態によっては細菌等によって分解されるため濃度低下が生じます。このため尿の保存については生鮮食品と同様の配慮が必要です。

当社での尿中デルタアミノレブリン酸検体の保存テストの結果を下記図に示しました。尿中デルタアミノレブリン等の検体保存時の濃度低下は、防腐剤として酢酸を添加（50vol%, 0.05~0.1ml/10ml）することにより抑制することができます。

尿中デルタアミノレブリン酸の保存テスト結果



kes サポート

課 題	kes サポート
体内ばく露量の調査	生物学的ばく露モニタリング (生体試料中有害物質・代謝物等の測定)
身体への影響の調査	生物学的影響モニタリング (鉛ばく露者：尿中 ALA、FEP の検査など)